

仕様

照度計の階級	JIS C1609-1:2006 一般形 A 級照度計に準拠、DIN 5032 Part 7 Class C に準拠		
センサー	CMOS リニアイメージセンサー		
測定波長範囲	380 nm ~ 780 nm		
出力波長間隔	1 nm		
測定範囲	定常光 : 1.0 lx ~ 200,000 lx 1,563 K ~ 100,000 K (色温度表示は 5 lx 以上) フラッシュ光 : 20.0 lx·s ~ 20,500 lx·s 2,500 K ~ 100,000K		
精度 (標準イルミナント A) ※1	照度 : ±5 % ±1 digit ※2		
	x,y : ±0.003(800 lx)		
繰返し性 (標準イルミナント A) ※1	照度 : 1 % +1 digit(30 lx ~ 200,000 lx)、5 % +1 digit(1 lx ~ 30 lx 未満) ※3		
	x,y : 0.001 (500 lx ~ 200,000 lx)		
	x,y : 0.002 (100 lx ~ 500 lx 未満)		
	x,y : 0.004 (30 lx ~ 100 lx 未満)		
	x,y : 0.008 (5 lx ~ 30 lx 未満) ※4		
可視域相対分光 応答度特性 (f1') ※1	9 % 以下		
斜入射光特性 (f2) ※1	6 % 以下		
温度特性 (fT) ※1	照度 : ±5 % x,y : ±0.006		
湿度特性 (fH) ※1	照度 : ±3 % x,y : ±0.006		
電源	単 3 形電池 (1.5 V) × 2 本、USB パスパワー		
測定時間	定常光 : 最長 15 秒 定常光 : 最短 0.5 秒 フラッシュ光 : 1 秒 ~ 1/500 秒 (1 ステップ切替)		
測定モード	単発測定、連続測定		
表示モード	テキスト、スペクトル、CRI 演色評価、TLCI/TLMF、TM-30、SSI、CIE1931、CIE1964、CIE1976 スペクトル比較、CRI 比較、CIE1931 比較、CIE1964 比較、CIE1976 比較		
測定項目	相関色温度 T_{cp} 、偏差 Δuv 、XYZ・ $X_{10}Y_{10}Z_{10}$ 、xyz・ $x_{10}y_{10}z_{10}$ 、 $u'v' \cdot u'_{10}v'_{10}$ 、 主波長 $\lambda_d \cdot \lambda_{d10}$ 、刺激純度 $Pe \cdot Pe_{10}$ 、分光放射照度、照度、露光量 平均演色評価数 Ra、特殊演色評価数 Ri(R1 ~ R15)、TM-30-18 Rf·Rg、TLCI、TLMF、SSI SSI \cdot SSI d ピーク波長 $\lambda_p \cdot \lambda_{p10}$ 、光合成有効量子束密度 PPF d 、		
その他の機能	メモリ機能 999、プリセット機能、オートパワーオフ、自動減灯		
表示言語	日本語、英語、中国語 (簡体字) 切替可		
インターフェース	USB 2.0 (Mini B)		
使用温度範囲	-10 °C ~ +40 °C、相対湿度 : 85 % 以下 (35 °C のとき) / 但し、結露しないこと		
保管温度範囲	-10 °C ~ +60 °C、相対湿度 : 85 % 以下 (35 °C のとき) / 但し、結露しないこと		
大きさ	73 mm (幅) × 183 mm (高さ) × 27 mm (厚さ) (ボタン等の突起物含まず) 最大厚さ 40 mm		
質量	230 g (電池含まず)		
同梱品	本体、スタートアップガイド (保証書付) 安全上のご注意、要求事項と安全上のご注意、ソフトケース CD-ROM、ストラップ、USB ミニ B ケーブル		

標準価格 : 250,000 円 (税別)

※1 : 測光モードは定常光 (レンジ L) 露光時間オートの場合

※2 : 照度は直線性

※3 : 誤差は 10 回測定 の 2 σ を平均値で割った値

※4 : 誤差は 10 回測定 の 2 σ

関連商品

撮影用途

**分光方式カラーメーター
スペクトロマスター C-800**
標準価格 : 180,000 円 (税別)

- ・撮影用途に適した測定項目と表示モードを搭載
- ・豊富な演色評価指数を搭載 (CRI, TLCI, TLMF, TM-30, SSI)
- ・演色評価指数による光源の色再現性の確認
- ・照明機材の経年劣化を色温度で管理
- ・複数の照明間の色温度を合わせるための
フィルター補正機能

小型照度計

照度計 i-346
標準価格 : 20,000 円 (税別)

- ・シンプル操作
- ・小型軽量
- ・測定範囲 2.50lx ~ 200,000lx
- ・単発測定、連続測定の選択が可能
- ・1 ~ 60 秒までのタイマー測定モード搭載
- ・JIS 規格一般形 A 級相当
(表示部の特性、可視域相対分光応答度特性 (f1)、斜入射光特性 (f2)
および温度特性以外は JIS C 1609-1:2006 に準拠)

製造元

株式会社 セコニック



大泉事業所
〒178-8686 東京都練馬区大泉学園町 7-24-14
TEL : 03-3978-2366 FAX : 03-3922-2144
(9:00~17:00 土日・祝日 定休)
ホームページ <http://www.sekonic.co.jp>

*このカタログは 2020 年 1 月現在のものです。

*このカタログに記載されている製品の仕様、外観、価格等は都合により予告なしに変更する場合があります。

SEKONIC

分光色彩照度計 スペクトロマスター C-7000

製品に関する最新の情報は
セコニックの WEB サイトで <http://www.sekonic.co.jp>

光源の種類も場所も選ばない 便利なポータブル測定器

CRI や TM-30-18 等の演色評価指数の表示や
植物工場向け PPF d 表示機能を搭載
フラッシュ測光も可能 !



C19Z2110

豊富な表示モードを搭載

テキストモード



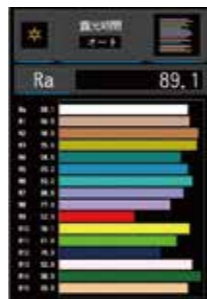
- 色温度
- 偏差
- 照度 / 露光量
- 三刺激値
- 色度 1931/1964
- 色度 1976
- 主波長
- 刺激純度
- ピーク波長
- CRI
- PPFD
- TM-30
- SSI
- TLCI
- TLMF

スペクトルモード



スペクトル表示モードは光源の波長を現場で簡単に測定表示します。

CRIモード



測定した光源の平均演色評価数 Ra と特殊演色評価数 Ri (R1 ~ R15) までの各評価数が数値とグラフで表示されます。

TLCI/TLMFモード



TLCI は基準の光源に対してカメラのセンサー特性を加味して 18 色のカラーサンプルを使って物体色の見え方の違いを数値で表します。TLMF は TLCI の計算方法を流用し 2 種類の光源の分光特性を数値で表します。

TM-30モード



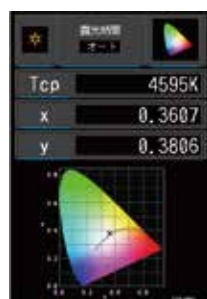
基準の光源に対して 99 色のカラーサンプルを使って物体色の見え方の違いを数値で表します。色の忠実性を見るための指標 (Rf) と光源のもつ鮮やかさの指標 (Rg) があります。最新のファームウェアでは TM-30-18 を表します。

SSIモード



基準光源に対して、測定した光源の違いを数値で表します。光源の分光的な相似性を評価する指数です。

CIE1931/1964モード



CIE で 1931 年、1964 年に採択された三色表色系です。CIE1931 は 2° 視野、CIE1964 は 10° 視野の等色関数を元にした三刺激値のデータから x、y、x10、y10 を求めます。観測視野が 4° を超える場合は 10° 視野をそれ以下の場合は 2° 視野を適用します。

CIE1976モード



CIE で 1976 年に採択された三色表色系です。CIE1931、CIE1964 と同様に、等色関数を元にした三刺激値のデータから u、v (2° 視野の場合)、u'10、v'10 (10° 視野の場合) を求めます。

スペクトル比較モード



CRI比較モード



CIE1931/1964比較モード



CIE1976比較モード



各比較モードでは、本体内にメモリーされた値と現在値を表示し複数光源の比較が可能です。

PPFD測定機能



植物工場の光源管理には光合成量子束密度 (PPFD) が用いられます。C-7000 では PPFD 値を表示する事が出来ます。

様々な現場で簡単に測定が行えます。



オフィスなど室内照明の管理



トンネル・道路など屋外照明の測定



医療用照明機器の色温度、演色性評価



自動車のヘッドライトや車内照明の照度、色温度の管理



色評価用照明機器の色温度、演色性評価



美術館、博物館などの照明管理



放送局、スタジオ、舞台など特殊照明の照度、色温度、演色性評価測定



目視検査用照明機器の色温度、演色性評価

専用ユーティリティソフト (Utility) Win/Mac 対応

- PC と本体を USB で接続し専用ユーティリティソフトを使用する事で測定結果 (テキストデータ、各種グラフデータ) の表示・保存が可能
- 分光放射照度データ (5nm/1nm) の CSV ファイル出力が可能
- 本体情報の確認や設定情報の変更が可能
- ファームウェアの更新が可能

開発者向け SDK を提供 (無償)

C-7000 をリモート制御したい開発者向けに SDK を提供し、用途に応じた測定システムの開発を自由に行う事が出来ます。

SDK の提供をご希望のお客様は弊社営業担当までお問い合わせください。

※SDK の使用やご利用方法に関する質問はサポート対象外となります。

校正証明書の発行 (有償)

ご希望のお客様には、校正証明書 (校正証明書、試験成績書、トレーサビリティ系統図) の発行が可能です。